

令和7年11月20日

西会津町議会広報広聴常任委員会
委員長 武藤 道廣 様

議会報告会第1班 班長 荒海 正人

議会報告会（第1班）報告書

「町民と議会との懇談会」（第19回議会報告会）開催結果について、下記のとおり報告いたします。

記

1. 開催場所及び日時等

開催場所	開催日	開催時間	参加者
西会津町公民館	11月4日(火)	18:00～ 19:30	男性…6名 女性…0名 計 …6名

☐出席者状況 西会津町猟友会6名

☐添付書類…出席者名簿

2. 出席議員…荒海正人 青木照夫 三留正義 渡部佳菜子

3. 実施内容…別紙のとおり

1. 場所・担当者

(1)開催場所：西会津町公民館

(2)担当者：

- ① 進 行…青木照夫
- ② あいさつ…荒海正人
- ③ 説 明…三留正義
- ④ 記 録…渡部佳菜子

2. 議会報告・懇談テーマに対する質問や意見

(1)議会報告に関わる参加者からの質問・意見等

① 報告会後の対応について（農業対策）

■ 農業問題について町に申し入れを行った後の対応は。

□ 回答（荒海・三留）：

内容としては、用水ポンプをはじめ、老朽化した設備等の更新について受益者だけでは対応が難しい。受益者側の負担を軽減できるように町に働きかけてほしいというもの。町側の対応としては、予算や関係団体との調整もあることから、具体的な対応については、まだ決定していない。

(2)懇談会テーマ『有害鳥獣対策』

■ 有害鳥獣被害の現状

今年は特にクマの出没が深刻化している。猟友会による駆除頭数は年により変動が大きく、令和2年は87頭、今年は既に70頭が駆除されている。猟友会員は55名、そのうち銃保持者は22名にとどまり、残り33名はワナ対応に限られる。加えて、仕事の関係等により現場に出られる人数は限られる。また秋頃にあると日の出・日没の時間が短くなることから駆除が可能な時間帯も狭まるため対応が難しくなっている。

■ 作業負担の実態

クマ対策は猟友会が中心となり実施しているが、檻の設置は100kgを超える重量の運搬が必要であり、最低4名以上の人員を要するため重労働。若手会員は仕事の都合で現場対応が難しく、実働は仕事を引退した世代が中心となっている。また、人手不足の際には他分会への応援要請で対応しているのが現状。

■ 捕獲許可の判断と住民との認識ギャップ

クマの駆除許可は町が行うが、人家に遠いなど人に危害を加える恐れがない場合は許可が下りないことがある。住民は不安を抱きながらも駆除が認められないケースが時々ある。そのため、現場の危機感と行政側の基準に差が生じ、住民との認識ギャップに繋がっている。

■ 現場の安全確保と捕獲状況の把握

現在は檻に監視カメラを設置し、捕獲状況や周辺の個体の動きを把握してから駆除を行っているが、今年あったケースでは、親子とは別に複数のクマが同時に檻の周囲に出没することがあった。カメラ映像だけでは死角が生じ、想定外の行動が起こる可能性もあるため、現場作業は常にリスクを伴っている。

■ クマ被害増加の要因

今年の夏の猛暑により、山林のどんぐりや木の実が例年より極めて不作となったことが、クマの人里への降下を増加させる大きな要因と考えられている。また、過去に実施されていた春熊駆除（春の子連れ前の調整猟）が現在は保護の観点から実施されず、個体数調整が行われていないことも背景にあると思う。さらに、特に大型個体を中心に車や人への警戒心が薄れる傾向が見られ、人里での生活環境に慣れ始めている点も意見として挙げられた。

■ 報奨金制度の現状と課題

現在の駆除報奨金は1頭あたり2万円であり、分会ごとに配分される。報奨金の分配方法や使用方法は分会ごとに異なるものの、出動手当や弾薬代、訓練費などに充当されている。しかし、報奨金は“駆除した場合にのみ”発生するため、檻の設置・維持や日常の巡回、訓練など多くの作業には報酬が伴わない。結果として、実際の活動コストには見合わないケースが多く、現場負担とのバランスに課題があることが挙げられた。ただ担い手不足の改善については、危険性のある取り組みであることから報奨金額の増額のみでは大きな効果は期待しにくいのではとの意見が挙げられた

■ ジビエ活用が困難な理由

ジビエ活用については、町でも推進されようとしているものの、運搬にあたっては70～100kg規模の個体を運搬する必要があり、山中での血抜き・一次処理も非常に手間がかかるため、現場の負担は極めて大きい。解体施設の立地や搬送手段の確保が難しいことから、現体制で実用的に運用することは困難との見解も挙げられた。

■ 狩猟に必要な経費・手続きの負担

猟銃の取得には町から5万円の補助が出るものの、銃の購入・維持管理費用、定期的な更新手続き、各種訓練への参加など、金銭的・時間的負担は大きい。特に訓練は費用も手間も多く、場合によっては仕事を休んで参加する必要がある、現役世代が加入しにくい要因となっている。

■ 人家周辺環境の整備と課題

人家周辺には依然として柿・栗の木が多く残されており、クマを誘引する要因となっている。伐採には体力と費用を要するため、高齢化が進む中で住民自身での対応は難しい状況にある。町からの伐採補助制度はあるものの、申請手続きが大変との理由で利用が進んでいないように感じていることが挙げられた。住民の同意を前提として町が主体的に伐採作業を行えるような制度設計が必要との意見が挙げられた。

■ 町専門員の業務負担と体制強化の必要性

捕獲対応は分会が担うものの、許可手続きや現場調整、捕獲後の対応などは町専門員が都度関与しており、連日の捕獲が続くと早朝や休日にも出勤せざるを得ず、専門員の負担は非常に大きい。地域おこし協力隊が加わり人員補完は図られているが、クマ対策に必要な知識・経験が十分に蓄積されるには時間を要するため、町としても中長期的な体制強化を検討すべきとの意見があった。

3. 申し入れ案

- (1) 猟友会会員の減少により、個々の会員の負担が増大している状況を踏まえ、個体あたりの報奨金の増額や出動に対する報奨の設置、猟銃の保持・訓練等に必要な経費への支援など、鳥獣被害対策に従事する方々への金銭的支援を強化すること。
- (2) カキ・クリ等の果樹の伐採が円滑に進むよう、補助金手続きの簡素化を図るとともに、町として積極的に伐採の呼びかけを行うなど、実施を後押しする取り組みを進めること。
- (3) 専門員の業務負担が増加している現状を踏まえ、人員確保や待遇改善等、継続的に有害鳥獣対策を実施できる体制整備を図ること。
- (4) 駆除現場における実際の負担を町議会として適切に把握するため、檻の設置状況や訓練場等の視察を実施すること。

令和 7 年 11 月 26 日

西会津町議会広報広聴常任委員会
委員長 武藤 道廣 様

議会報告会第 2 班 班長 猪俣 常三

議 会 報 告 会 (第 2 班) 報 告 書

「町民と議会との懇談会」(第 19 回議会報告会)開催結果について、下記のとおり報告いたします。

記

1. 開催場所及び日時等

開催場所	開催日	開催時間	参加者
宝川集会所	11 月 14 日 (金)	9 : 00 ~ 12 : 00	男性… 0 人 女性… 6 人 計 … 6 人

☐宝川いきいきサロン 会長 堀江恭子

☐添付書類…出席者名簿

2. 出席議員

猪俣 常三 ・ 秦 貞継・上野 恵美子・長谷川 正

3. 実施内容

別紙のとおり。

1. 宝川（集会所）

（1）担当係

- ① 受 付 長谷川 正
- ② 進 行 秦 貞継
- ③開会あいさつ 猪俣 常三
- ④ 説 明 上野 恵美子
- ⑤ 記 録 長谷川 正

- ① 今回は、宝川サロンに参加し話を伺った。初めに準備体操、棒体操、認知症予防手指・足指体操など1時間ほどかけて行い、「さすけねえ輪音頭」終了後に懇談会を実施した。

（2）議会報告に係る参加者からの質問等

- ① 特になし

（3）懇談会に係る参加者からの提言及び意見等

《 テーマ こんな町になったらいいな 》

① 町民バス及びデマンドバスについて

- ・西会津・坂下線を増便して欲しい（通院等で利用したい）。
- ・診療所や町のスポーツ施設を利用しやすいよう、利用者の声を聞いたうえで運行時間を設定して欲しい。

□回答…<回答者 秦 貞継 >

運行時間などについては、町当局と利用者との話し合いの場を持つことが大事だと思う。利用者増となるよう、利用者の意見を伺う機会を作れないか町に要望してみる。

- ・バス乗り降りの際、階段まで高さがあり踏み台などを全てのバスに設けてほしい。（一部のバスには、設置してある。降りる際、踏み台を準備してくれる運転手もいる。）

□回答…<回答者 秦 貞継 >

高齢者の乗り降りに支障があると思われる。改善出来ないか町に要望したい。

- ・町のイベントがある時、臨時バスなどの運行は出来ないものか。

□回答…<回答者 猪俣常三 >

町のイベントや各種大会参加に臨時バスを運行することは、バスの利用者増につながり、イベント参加者増、大会参加者増にもつながると考える。町に要望したい。

- ・デマンドバスの予約をしたとき、満員で乗れないことがある。

□回答…<回答者 猪俣常三 >

満員で乗れなかったことは、残念な事案である。果たして満員になったことは、あったのか確認し事実なら改善の余地がある。

② 有害鳥獣対策について

- ・有害鳥獣の出没により困っている。家の周りにある木を切ることで対策にならないかと思っているが、高齢のため自分ではどうする事もできない。

□回答…<回答者 秦 貞継 >

個人の所有する雑木の伐採は基本的には個人で行っていただくが、有害鳥獣対策として補助できないか検討したい。

③ 雪対策について

- ・冬期間のサロン開催では、集会所の除雪をすることが困難となっている。
- ・道が狭くて除雪ドーザが入れない町道がある。その様な所の除雪は、どのようにしたら良いのか。

□回答…<回答者 長谷川 正>

他の自治区でも除雪組合を作り、除雪担当オペレーターを選任し、町より大型除雪機を借りて集会所・大型ドーザの入れない所・除雪弱者の除雪を行っている自治区もある（事例を紹介）。

④ 健康診断時の集合場所について

- ・健康診断の時、会場まで行くのに集合場所が集会所となっている、歩いて行くのにも不便で大変である。
- ・集会所の集合場所では遠くて大変不便、そんなことなら健診を受けたくない。
- ・雨の日、集会所の前で待っているのは、大変だった。

□回答…<回答者 秦 貞継 >

- ・町でも健康診断の受診率向上の取り組みを行っている。集合場所の改善で健診を受ける方が増加すれば、町としても良いことだと思う。集合場所の変更や送迎体制の見直しが出来ないか町に要望したい。

(4) 開催会場における改善及び反省事項

- ・特になし

(5) 町に対する要望事項

- ① 町民バス・デマンドバスの利用者の意向調査等を実施してほしい。
- ② 未利用果樹木を切る際の補助金を検討して欲しい。
- ③ 健康診断を受診する際の集合場所等の適正な改善（各自治区複数の集合場所）はできないか。

令和 7年 11月 21日

西会津町議会広報広聴常任委員会
委員長 武藤道廣様

議会報告会第3班 班長 小林雅弘

議会報告会(第3班)報告書

「町民と議会との懇談会」(第19回議会報告会)開催結果について、下記のとおり報告いたします。

記

1. 開催場所及び日時等

開催場所	開催日	開催時間	参加者
道の駅よりっせ	11月5日(水)	19:00~21:10	男性… 4人 女性… 2人 計 … 6人

☐出席者状況 移住者との懇談会

6名の方にご参加いただき、多くのご意見を聞かせていただくことが出来たので良かった。

☐添付書類…出席者名簿

2. 出席議員

小林雅弘 武藤道廣 仲川久人

3. 実施内容

別紙のとおり。

1. 道の駅よりっせ（会場名）

（1）担当係

- ① 受 付 仲川久人
- ② 進 行 小林班長
- ③ 開会あいさつ 小林班長
- ④ 説 明 武藤議員
- ⑤ 記 録 仲川久人

=

まず初めに農業問題と防災行政無線について町へ申し入れを行った件について報告

（報告者：武藤議員）

（2）議会報告に係る参加者からの質問等

議会報告についての質問はなかった。

3) 懇談会に係る参加者からの提言及び意見等

① 移住した理由 A 氏

- ・交通網やインフラがしっかりしている。
- ・過去の地域おこし協力隊や芸術村の方を中心に受け入れ管理体制をしっかりとこなっている。

② テーマにあげた農業への取り組みなどについて

- ・西会津で農業を始めるメリットなどがわかりにくい。
- ・町で農業を始めるメリットについての情報発信が不足していると感じる。
- ・この町の強みはあるはずだ。農林振興課に行くのはハードルが高い。

③移住して感じたこと

- ・女性が声をあげにくい雰囲気。また、意見が通りにくい面がある。どのように意見を吸い上げるのか、意見を吸い上げる体制づくりが必要と思う。工夫が必要。
- ・移住者は女性が多い。女性が安心して暮らせる住宅などや行政サービスなど、誰の目線で考えるのか（そういう視点が）必要だ。
- ・子どもと一緒に来た時、西会津町としてどんな教育をしていくのか。具体的に話せる場が欲しい。
- ・高校の存続はどうなるのか。県に対して町の意見をだしてほしい。

- （武藤議員）介護関係の学科を進めている。 また議会で、子育て支援関係で教育留学関係の提言を進めている。

④地域おこし協力隊で西会津町を選択した理由 B 氏

- ・マスコミ系の仕事をしてみたいと思いケーブルテレビ関連で地域おこし協力隊へ募集した
- ・学習塾があるといいのかなって思う（塾がないため若松などへ流出しているのかな）

- （武藤議員）ケーブルテレビで仕事をしてどうですか？

- ・仕事にも慣れてきて満足しています。色々な業務を経験する事が出来て良い。

- （各議員）学習塾については、秋から公営の塾ができた。

⑤地域おこし協力隊で西会津町を選択した理由 C 氏

- ・鳥獣対策の活動をやりたくて応募してきました。
- ・3年後に役場に就職出来るなど環境が有ればと思います
- （小林議員）本町もガバメントハンターなどの環境整備を進めていく事が必要。
- ・移住者が多いのに電話の市外局番 0241 が記載されていない表。
- （議員全員）気がつかなかった！！移住者の目線になっていない。

⑥地域おこし協力隊で西会津町を選択した理由 D 氏

- ・福島県でジビエをやりたくてきました。
- ・町から紹介された物件（女性向けですよ）が酷すぎた。設備や防犯の面で問題がある物件であった。今は、トゥジュールへ引っ越し快適に生活出来ている。近くに同年代の方（女性）が住んで居るのも友達が出来て安心する。
- （武藤議員）空き家の利活用で配慮しなければいけない。
- ・ふるさとまつりなのにふるさと感がない
工夫があると良いのだけどなあ。自分達がやろうとする意識が少ないのかなあ。
- （武藤議員）昔は文化と産業祭の雰囲気が強かったが、高齢化の影響なのか地元の方の出展が少なくなったのが原因なのかもしれない。イベントの在り方を考え直す時期なのかもしれない。
- （仲川議員）キッチンカーが多くなり飲食イベント感が強いのも一因なのかな。
- ・西会津町の協力隊の体制で良かった点は、協力隊どうしの交流会などがある点である。
- ・町民の方も地域おこし協力隊を知っている方が多くウェルカムムードがあるので良い。

⑦協力隊後に移住 E 氏

- ・移住した理由は、「人と制度」
- ・協力隊の活動（起業型 NCL）の方を中心に誘致する必要がある。協力隊を仕事につなげていかないと。呼んだ後どうするの、となる。協力隊が町の人手不足解消だけになってしまう。起業型NCLを復活させる。
- ・起業型NCLの勤務時間など自由にさせる。しぼりが多すぎる。

※その他感じたこと

- ・観光に力をいれてほしい。
- （武藤議員）過去の大山などの観光地だけでなく様々な観光（文化）につなげる。また会津に広げる必要がある。
- （仲川議員）協力隊の活動で活動資金が出ていますがきちんと活動にいかせていますか？
- ・前は活動資金などのあり方で不明な事があったが、きちんと説明されているので大丈夫です。
- ・協力隊の活動で事務的作業に対する役場業務の補助部分が多くあるので活動内容にあった仕事をしたいとの思いがある。
- （武藤議員）職員の業務が多くどうしても協力隊を業務補助として使いたいとの事だと思うが本来は、協力隊の活動が優先されるべきだと思います。

- ・議員さんとの懇談会は、かしこまったイメージを持っていたが、色々な点で話を聞いてもらい身近に感じた。是非、第2回目もやってほしい。

- （武藤議員）委員会にあげ、開催出来る様にしてみます。

- ・阿賀町はマルチワークで、魅力的な仕事をつくっている。（例、奥阿賀コンビリー）法人をリモートで誘致するなど、新しい産業を興す必要がある。

- ・民間だけでは補助金が下りない。

- （武藤議員）補助金はあるが、その事務作業がたいへんだ。事務作業ができる人を町に入れる必要がある。

- （仲川議員）スキルを持って移住してきた人と、町や議会の考えが乖離している。

- ・事業継承したいなら、それなりのことを町が準備する必要がある。そもそも黒字の事業じゃないと継承する意味がない。

- （武藤議員）町の姿勢として、町にきた若者に寄り添って、面倒を見ていく必要がある。

- ・西会津町出身の子が使える補助金があってもよい。

- ・財政力を上げることが重要。

（４）まとめ（明らかになった課題）

- 女性の意見・考えをどう吸い上げていくのか。

- 町の施策は、移住者の目線でつくられているのか。

- 協力隊のあり方。起業から定住につなげる。

- ふるさとまつりの見直しをはじめ、観光に力を入れる。

（４）開催会場における改善及び反省事項

開催時間が午後7時となった事で道の駅よりっせの玄関が施錠されたことで裏口からの出入りとなり不便をかけてしまった。夜間の開催には公民館などが良いのかもしれない。また、活発な意見交換が出来たが長時間となった事でご迷惑をかけた点も反省すべき。

また、開催曜日を水曜日にしたが、様々な会議・集まりとかち合って、半数くらいの人に参加できなかった。開催日を相談すればよかった。

またやりたいという意見に応えたい。